

近江地区にある、広大なガマの群生地。毛利藩の統治時代に開墾された水田跡に生息しており、9月上旬には茶色い穂を出します。

アクセスマップ



回天記念館 知る

【開館時間】
8:30～16:30

【休館日】
毎週水曜日(但し水曜日が休日の場合はその翌日)及び12/29～1/3

【料金】
・大人…¥300 ・18歳以下の学生・幼児…無料
・団体(30人以上)…大人¥240

【内容】
「回天」の心を通じ、平和について学習する施設。「回天」に関わる遺品・遺書の展示を中心に、歴史や時代の背景、当時の生活などをパネル展示で紹介。視覚コーナーもあり、所蔵点数は約1,000点を数える。

【お問い合わせ】
☎0834-85-2310



大津島ふれあいセンター 楽しむ

【料金】
・宿泊棟
《宿泊》¥4,460/1棟4人(定員8名1人増ごとに¥1,150追加)
《休憩》¥1,110/1棟(10:00～16:00)
・管理棟
《研修・会議》¥1,650(10:00～13:00, 13:00～16:00)
《休憩》¥160/1人(10:00～16:00) ※各棟に冷暖房完備

【休館日】
毎週火曜日(但し火曜日が休日の場合はその翌日)及び12/29～1/3

【概要】
宿泊棟…8棟(トイレ・洗面所・ベッド・寝具)
炊飯棟…ガスレンジ、電気炊飯器、食器類
シャワー棟…温水式シャワー 4基
管理棟…100人収容(研修・会議等)
レンタサイクル…30台

【お問い合わせ】
☎0834-85-2777(8:30～17:15)



山口県 周南市 大津島

おおづしま
— 歴史と観光の島 —



周南をもっと 満喫!! 周南市観光 ボランティアガイド

周南市観光ボランティアガイドは、周南市を訪れた方々の楽しい旅のお手伝いいたします。詳しくは下記までお気軽にお問い合わせください。

周南市観光ボランティアガイドの会事務局
TEL 0834-22-8372 FAX 0834-22-8375
※お申し込みは希望日の1週間前までにお願ひします
※ガイド料金は無料です(交通費等の実費のみ負担)



お問い合わせ

周南市観光政策課 ☎0834-22-8372
http://www.kanko-shunan.com

周南市観光案内所 ☎0834-22-8691
大津島支所 ☎0834-85-2001
大津島巡航船 ☎0834-21-7749
無料休憩所養浩館 ☎0834-85-2030

2017.7 版

ポテトマラソン 楽しむ

【開催日】
毎年12月の第一日曜日

【会場】
大津島小学校

【開催時間】
9:30～13:00

【内容】
健康マラソン・ウォーキング大会、福引抽選、芋汁の接待など

【お問い合わせ】
文化スポーツ課 ☎0834-22-8624



楽しむ さくらまつり

【開催日】
毎年4月の第一日曜日

【会場】
大津島小学校

【開催時間】
12:00～14:30

【内容】
演芸、カラオケ大会、もちまきなど

【お問い合わせ】
大津島支所 ☎0834-85-2001



大津島漁師食堂 食べる

【営業日】
土曜日・日曜日・祝日、その他イベント時

【営業時間】
11:00～14:00
※11月上旬～3月中旬は休業予定
※営業日時等変更の場合あり、事前にお確かめください

【メニュー】
各種定食、うどん、シーフードカレー等

【お問い合わせ】
☎0834-85-2000



回天烈士並びに回天搭載戦没潜水艦追悼式

【開催日】
毎年11月の第二日曜日

【会場】
回天記念館

参加する

大津島 観光マップ

フェリー航路
旅客船航路



桜などの花々
春を彩る桜・シラカバや夏の水仙など、四季折々に花びら咲き誇り、見る者を魅了、喜ばせます。



⑩ツバキの巨樹
大津島地域の奇木にあり、慶応30年と伝えられていた巨樹です。幹周長は約27mで、手を伸ばした辺りADの高さで二つに分かれる、です。



⑨無料休憩所「養浩館」
回天記念館への道の途中にあります。簡易調理や飲みやけの処置が行っています。



④大坂城築城の残石
1629年(元和6年)の5,10年頃、徳川幕府が外様大名に大坂城を構築させたつらら、本丸と天守台には毛利家が残つた。大津島にも石が運び込まれた。



③十人墓
1748年(寛政元年)に大津島で増多の船主墓の常用船が遭難。遭難した10人の遺体を地元民が葬った墓で、毎年七夕の日に供養祭が行われます。



②刈尾海水浴場
毎年7月の連休前日の5月中旬にかけてビーチ、場内には休憩所やシャワーなどが利用できます。



⑥モニュメント「未来の風」
山頂まで約20分。途中には休憩所や魚雷発射所が設置されている。山頂からは大津島が一望できます。



⑧無料休憩所「養浩館」
回天記念館への道の途中にあります。簡易調理や飲みやけの処置が行っています。



回天記念館

【人間魚雷】 回天

関連施設を訪ねる



大津島基地配置図

※赤色の文字は現存している施設

大津島にある人間魚雷「回天」の訓練基地は、全国に4箇所あった基地のうち最初に開設され、かつ当時の施設が現在も残っている唯一のものです。訓練基地の前身は、1937(昭和12)年に開設された呉海軍工廠の魚雷発射試験施設で、当時日本海軍が世界に誇った高性能魚雷である九三式酸素魚雷の試験が行われていました。現在、数多く残る遺跡の中でシンボリック存在となっているコンクリートの構造物は1939(昭和14)年に魚雷発射場として建設され、総工費は当時の金額で83万円といわれています。

その後、九三式酸素魚雷を推進装置として使用した「回天」の誕生とともに、訓練基地隊が1944(昭和19)年9月1日に開隊し、9月5日から訓練を開始しました。この回天の訓練を行なうため設定された5コースのうち、馬島や大津島、野島を回って整備工場まで帰る3コースが魚雷発射場を起点としています。なお、この魚雷発射場は2006(平成18)年に土木学会中国支部から「土木遺産」として認定されました。

現在、大津島小学校のグラウンドとなっている場所には当時兵舎があり、出撃する隊員はその東側にあった横溝から内火屋に乗り、沖合いに待機する「回天」を搭載した潜水艇に乗り移って戦地へ向かいました。